



『大東亜共栄圏地図』豊橋市中央図書館蔵

## 戦争への道・空襲への道

昭和は恐慌とともに始まった。大不況・大飢饉の日本は、海外に活路を求めた。

日本の海外進出をよく思わないアメリカは石油の輸出を禁止。イギリス・中国・オランダなどもこれにならない、同じような行動をとった。

資源を求めて日本は、中国へ出兵。満州事変・上海事変・支那事変・大東亜戦争(太平洋戦争)へと、戦争の道を進んだ。

1941年(昭和16)12月8日、日本はハワイの真珠湾を攻撃し、アメリカとの全面戦争に突入した。

### だいたいあせんそう 大東亜戦争と太平洋戦争

1941年(昭和16)12月10日、政府は支那事変を含む対アメリカ・イギリス戦を「大東亜戦争」と呼ぶことに決定した。一方アメリカ政府は、「太平洋戦争」と名付けた。

## アメリカ軍ドゥーリトル隊、日本初空襲

1942年(昭和17)4月、アメリカ軍はB 25で空母から日本本土を初空襲。しかし飛行距離が長かったため、よい戦果は得られなかった。日本への飛行距離短縮が課題に残った。

B 25、16機中2機は遠州灘から渥美半島を横断。名古屋へ。豊橋初の空襲警報発令。

### 連合国の反撃・せばまる日本包囲網



『豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場』八七会刊

# アメリカ公文書館資料から見る日本空襲の実態

## 《日本初空襲から終戦まで》

1942年	4月	ドゥーリトル隊、日本初空襲
	6月	ミッドウェー海戦
	9月	B 29 完成
	12月	マッターホーン計画承認
1943年	4月	米軍四川省に前進基地を開設
1944年	7月	マリアナ群島サイパン玉砕
		B 29、中国大陸から九州初空襲
	10月	神風特攻隊出撃
	11月	航空機工場・大都市攻撃
1945年	2月	ヤルタ会談
	3月	東京大空襲 硫黄島全滅
	6月	浜松・豊橋大空襲 沖縄戦
	8月	広島・長崎原爆投下
		豊川海軍工廠空襲 終戦

## ◆ドゥーリトル隊の日本初空襲

1942年(昭和17)、空母から16機の中型爆撃機B 25で東京・名古屋・神戸を空襲。

## ◆B 29 登場・マッターホーン計画

マッターホーン計画は、B29(高高度水平飛行可能)で日本空襲をする作戦である。

B 29 はB 25 よりも飛行能力が優れていたが、日本本土の直接爆撃に、どうしても陸上基地が必要だった。そこで、日本本土空爆を射程内にできるマリアナ群島基地化をねらった。

## ◆マリアナ基地とB 29 の出撃

### 日本上空偵察・写真撮影・気象観測

サイパン・テニアン・グアム玉砕。マリアナ基地からアメリカ軍は満州へ、日本本土へと爆撃機を飛ばした。

日本攻撃前に偵察用のB 29 を飛ばし、写真撮影と気象条件を把握し、戦術に活用した。

## ◆B 29 の弱点はジェット気流・目視からレーダーへ・焼夷弾攻撃

初期の空襲目標は、航空機工場。白昼10,000mの高度から目視で爆撃した。しかし、B 29 の唯一の弱点は、西から東に吹くジェット気流だった。気流に入ると、行動の自由を失い、目視攻撃は不可能となった。

航空機工場爆撃の過程で、日本の木造住宅密集に目を付けた。そこで、夜間・レーダーでの住宅を焼き払う焼夷弾攻撃が始まった。

## ◆大都市攻撃焼夷弾作戦

1945年1月、日本空襲総司令官ルメイ着任。同年3月10日、東京大空襲。334機のB 29に焼夷弾323,000本。恐怖の作戦が始まった。東京・名古屋・大阪などが焼払われた。

## ◆艦載機の攻撃・機雷投下

小型機からの機銃掃射も激しさを増した。

## ◆中小都市に拡大

焼夷弾攻撃を中小都市へ拡大。

## ◆模擬原爆パンプキン

原爆の威力を確かめるために、模擬原爆パンプキン49発が日本の都市に投下された。

## ◆広島・長崎原爆投下

### 模擬原爆パンプキン被弾地図

●1つがパンプキン1発を示す。



トレーラーに乗せられたパンプキン



工藤洋三・奥住喜重編『写真が語る日本空襲』  
現代史料出版刊